

第30回 武雄市短期経済観測調査（たけお短観）の結果について

下記のとおり「第30回武雄市短期経済観測調査（たけお短観）」を実施し、結果をとりまとめましたので、お知らせします。

結果のポイント

- ・総合景気観のDI値は(+12)となった。
- ・前回3月調査値(-12)と比べると+24となり、景気観は持ち直している。

【武雄市短期経済観測調査（たけお短観）結果】

平成29年6月調査

	調査数	前回調査		今回調査			前年調査
		A 現況 (H29. 3)	見通し (H29. 4-6)	B 現況 (H29. 6)	(B-A)	見通し (H29. 7-9)	現況 (H28. 6)
					前回現況 との対比		
総 合	99	-12	1	12	24	11	-26
農業	10	-20	-20	0	20	20	-20
建設業	11	-33	-11	27	60	9	-8
製造業	11	-27	-18	37	64	0	-36
卸売・小売業	25	-29	-8	-12	17	16	-20
観光業	11	0	30	18	18	0	-89
飲食業	9	-11	11	-11	0	22	-30
サービス業	22	18	18	32	14	9	-9

- 調査目的 本市経済の景況感をよりの確に把握するため
- 調査対象 武雄市内事業所 100箇所（業種別内訳は上表参照）
- 調査時期 年4回（3月、6月、9月、12月）
- 調査方法 電話による聴き取り
- 調査内容
 - (1)現在の景況感：良い、普通、悪いのいずれかを回答
 - (2)3ヵ月後の見通し：良くなる、変わらない、悪くなるのいずれかを回答
- 集計方法
 - (1)現在の景況感(2)3ヵ月後の見通しについて、それぞれ回答数の構成比を求めた上で「良い(良くなる)」の構成比から「悪い(悪くなる)」の構成比を引いて「現況DI」、「見通しDI」として指標化しました。
 - 例えば、現在の景況感の「良い」が10%、「普通」が40%、「悪い」が50%の場合は、-40となります。
 - 「DI」(Defusion Index、デフュージョン・インデックス)は、企業や業界の景況感などを数値化した指標の事で、日本銀行の「全国企業短期経済観測調査」(日銀短観)などで用いられています。